

CONTENTS

- 02 ● ニチハサイディング
商業施設の最新施工例
- 12 ● ニチハGLPアクション
について
- 14 ● 新商品紹介
- 19 ● Topics & More

ニチハサイディング 商業施設の最新施工例



ニチハサイディング 商業施設の最新施工例

ニチハサイディングによって、建築デザインの可能性はますます大きな広がりを見せています。
今回は、道の駅と商業施設の施工例をご紹介します。



撮影・楠瀬友将

三方五湖と若狭湾の美しさが創造の源泉となり 設計された新しい道の駅

多種多様な屋根下の空間を設け、分散配置させているはまびより。
4mグリッドの鉄骨柱の配置で、大屋根の浮遊感を演出しています。

ニチハ はまびよりのようなプロジェクトに参加する際には、ランドスケープデザインの方と協業することは多いのでしょうか。
小田嶋 私はランドスケープデザインの方とはよく協業しています。
建物単体のデザインがいくら良くても、外構との一体性が保たれていなければ、いい建物にはならない。配置・アプローチ・植栽に至る全てに統一感があって、初めていい建物になると思っています。常日頃から、その部分を大切にしたいと感じているので、今回もこうした体制作りを含めて美浜町に提案した上で、プロポーザルに取り組みました。



撮影・楠瀬友将

美浜駅ロータリーに面してアクセスの良い好立地ながら、若狭湾、周囲の山並み、田園風景などの周辺環境と一体的なつながりが構築されています。

魚場、福井県美浜町』をオープンされました。私もこのプロジェクトをきっかけに合掌様と何度も現地へ通い、地元料理の美味しさに感動しました。美浜町は、三方五湖が有名ですが、自然が豊かで、そこで獲れる海の幸を地元の漁師さんたちがそれぞれ工夫しているんな味付けをされていて、他所ではなかなか味わえない料理になっている。これだけ美味しいものがあるのならば是非伝えたいと僕も思うくらいでした。

ニチハ はまびよりには、意匠デザイン監修・ランドスケープデザインなど、さまざまなスタッフの方が関わっておられますね。
小田嶋 当初、県産材木を活用した木造プランを検討していたことから、飛騨高山で間伐材を活用した建築を推奨されていて、商業建築の経験が豊富な澤秀俊設計環境様と協業してデザイン提案することになりました。私の後輩が、前の職場で澤様と同僚だった縁があり、そのつながりから今回お声がけしました。

ニチハ 美浜町道の駅 若狭美浜はまびより（以後、はまびより）は、令和6年の北陸新幹線敦賀開業を見据えた、美浜町のにぎわい拠点施設としてオープンしました。御社がはまびよりの設計・監理を行われましたが、本プロジェクトに参加する経緯を教えてくださいませんか。
小田嶋 はまびよりの整備には、民間企業の経営能力や技術力（ノウハウ）を活用する、PFI（BTO）方式が採用されています。本プロジェクトは、はまびよりのPFI事業者として選定された美浜くらしブランド株式会社との合掌智弘様と美浜町とで、北陸新幹線開通に向けて、自然豊かで食も豊富な美しい



多彩なスタッフィングにより実現した 多様な視点に基づく新たな提案

美浜町ににぎわいをつくり盛り上げていくという6年越しの明確なコンセプトを元に発足されています。

合掌様とは、弊社が以前設計で関わった道の駅「グランテラス筑西」の折にご縁ができました。公募型プロポーザルで美浜町と道の駅の計画があるということで合掌様からご相談いただいた事が今回参加に至ったきっかけになります。

ニチハ 合掌様の代表企業は、店名に自治体名を入れた「ご当地酒場」を事業展開されている方だそうですね。
小田嶋 合掌様はもともと福井県出身で、美浜町の食材に魅せられて、日本橋に「熟成



ニチハ 福井県内では、直近でも2023年に「道の駅 越前たけふ」、2024年に「道の駅 アシス フォーシーズンテラス」がオープンしています。他の道の駅との差別化は意識しましたか。
小田嶋 福井に新しくできた道の駅は全て見学にいきましたが、差別化は意識していません。この場所・地域に違和感なく建つ建築というのを常に意識しています。今までは風景を崩さないということが、建築のあるべき姿と思っています。この場所にあった違和感のない建物を作ること、地域の方たちにとっても今まであった風景の中に自然と溶け込むような建物を創ることが出来たら成功だと思っています。持つて計画をスタートさせました。

株式会社 三橋設計
設計部 次長

小田嶋 亮 様

プロジェクトメンバー

設計・監理：三橋・山口設計共同企業体
意匠デザイン監修：澤秀俊設計環境
ランドスケープデザイン：オオツランドスケープデザイン事務所
構造設計・監理：木下洋介構造計画
施工：技建工業

一部室内に取り込みたいといった要望は実際にでてました。ただ、コロナ禍という逆境を前に、お客様が安心して集まれる場所を作りたいという合掌様の強い思いが、建物として結実できたのだと思います。

ニチハ 建物を2棟立てにして、センターに大きい通路を設ける配置は最初から決めていたんですか。

小田嶋 これは、道の駅ならではの事情が深く関係しています。通路の奥に、情報発信コーナーとトイレの建物があるのですが、実はこの建物だけ管轄が異なります。施設本体は美浜町の事業ですが、トイレの管轄は国土交通省。設計も国土交通省が行い、それこそ設計者も違うので、デザインも違ってくる。隣り合っていたとしても、構造的には分断されて、全く別物になるということが起こります。私共の思いとしては絶対分断したくない。でも、設計者は違う。それなら、うまく調和できるように、トイレに行く通路を兼ねた広場にするという提案につながりました。8mの大スパン、2層吹き抜けの空間になっていますが、奥に向かう通路は自分たちの設計エリアですから。このような工夫をする事で全体的にデザイン統一の図られている建築を実現できました。

ニチハ 完成したはまびよりを拜見すると、全体的に統一感があって、奥の建物を違う方が設計されたとは思いませんでした。

小田嶋 国土交通省が、私どもの考えに共感してくれたことが大きいです。私どものプランを見て、これは実現したいと共感していただき、設計の方も弊社のプランに寄せて頂きました。こちらが細かな部分を検討している段階から、図面を早めに欲しい、ディテールが欲しい

と催促された記憶があります。計画当初から、国土交通省の方にはたびたびプレゼンさせていただいて、説得を試みた甲斐がありました。

ニチハ これだけの広さだと、フリースペースとしても有効にご利用いただけそうですね。

小田嶋 美浜町には年に1回、40人ぐらいが集まって御興をかつぐイベントがあると伺ったので、イベントを行う広場としても利用できますという提案も含めました。

大きなイベントをやることで、街に一体感が生まれ、賑わいが溢れ出して地域へ発信していく、それがコンセプトにもなりました。

ニチハ 多目的に使えるつな、みはまプラザやえんがわテラス、キッチンカーが乗り入れできる海の広場など、観光客はもとより地元の方にとっても生活の一部になるような、親しみやすい空間となっていますね。

小田嶋 今まであった街並みの延長として、縁側でお茶をするぐらいの感覚で自然に立ち寄っていただける事が理想です。

建物がなかった時でも、地元の人たちが近くの公園や軒下でくつろいでいる姿をよくおみかけしていました。実際、駅から役所に行くまでの間に、普通の民家の縁側が地域の方々の憩いのベンチになっていて、誰でも座れるような空間がそこにはありました。はまびよりの端っこにえんがわテラスを設けた事も、暮らしの延長として縁側を作ったようなものなので、ずっと地元に住んでる方たちも、縁側でお茶をするような軽い気持ちでご利用いただき、今までずっとあつた風景を楽しんでいただけたら嬉しいですね。



撮影：楠瀬友将

若狭湾の波と浮島をイメージした海の広場と施設中央を貫く大屋根広場。ランドスケープと施設が連続するように設計、海の広場と大屋根広場の一体的利用を可能にしています。

ものづくりへの共感が醸成した 今までにない道の駅のカタチ

ニチハ はまびよりは、3つの大屋根が重なり合い、軒天の木質感が印象的な建物で、一般的な道の駅のイメージとは大きく異なる外観になっています。

小田嶋 それは、今までにない道の駅を作るという考えからスタートしているからだだと思います。〇〇の駅というのは各所で作られています。〇〇の駅というのがあるからだとはいえませんが、全てが集客に成功しているわけではありません。美浜町が道の駅を通して、街の活性化、賑わいづくりをしていくなかで、何が正解か、本当に今までにない道の駅を生み出してほしいというような要望を受けてのチャレンジでした。

ニチハ 今までにない道の駅にチャレンジしていく上で、まず何から始められたのでしょうか。
小田嶋 まずは美浜町のご依頼にあった与件を覆すところから始めました。当初、美浜町の要望は、ロータリーに面して広場をまとめて配置するというものでした。広場をまとめて配置するゾーニングだと従来の道の駅を脱せられない。より良いものにしていくためには、そこも崩していくというのがスタッフ一同の共通認識でした。なおかつ、この地域の特徴をこの道の駅で表現したいという思いからアイデアを組み上げていきました。

ニチハ はまびよりの設計を進めるにあたり、美浜町のどのような特徴を盛り込むことにしたのでしょか。

小田嶋 この地域にある三方五湖という観光名所の存在が大きく影響しています。三方五湖は、特色のあるきれいな湖が5つ分散して

いて、実際に訪れてその美しさに衝撃を受けました。そこから着想を得て、三方五湖のように広場を分散させ、来訪者が目的に合わせて各広場を使用できるように配置しました。分散した広場は、小さくさまざまなスケールの半屋外空間で構成されています。そこに大小、勾配の異なる屋根をかけることで、広場のつながり、視線の抜け、周辺山並みと呼応するような外観デザインにしました。

ニチハ 従来の道の駅にはないイメージの外観になっていますね。

小田嶋 まずは、一目見たときに、何かありそう、ちょっと面白そうって思っていただけでも、建物を目指しました。3つの大屋根の他にも、ルーフトップテラス、中心を突き抜ける大屋根の広場など、三者三様、いろいろな表情を見せる建築ができたと思っています。現地のお客様に声をかけられたことがあるのですが、「ずっと旅をしているが、面白そうだからつい寄ってみた」って言うていただいて、嬉しかったですね。

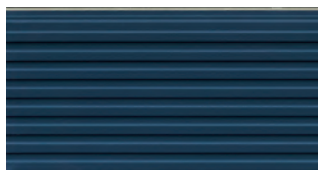
ニチハ 設計の時期がコロナ禍だったということも大きく影響しているそうですね。

小田嶋 コロナ禍でなかったら、ここまで抜けるの多い建物ではなかったかもしれないですね。コロナ禍だからこそ、密閉した空間にはせず、外気を取り入れやすい空気の循環を意識した空間を実現できました。美浜町の気候を考えると、冬場は積雪も多くて寒いし、海風も強い過酷な環境ですから、雨風をしのぐために



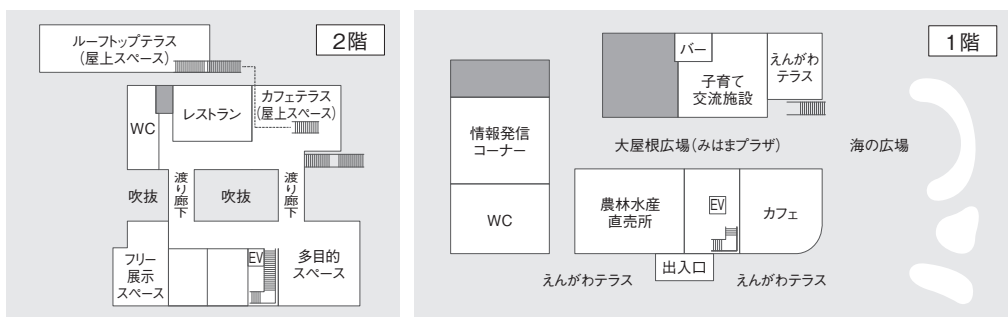
撮影：楠瀬友将

奥に広がる若狭湾の碧色と調和したはまびよりの外観。左側の建物は国土交通省の管轄でありながら、全体イメージにあった統一感のあるデザインになっています。



使用商品

金属製サイディング
センターサイディング
プレミアムシリーズ
NS型ネオスパンプレミアム
ネイビーブルー



はまびよりの配置図



建物周囲に張り巡らされた軒下空間えんがわテラス。屋根下の半屋外空間は気軽に立ち寄って利用できるオープンスペース。夕暮れ時には、店内からの柔らかな光に包み込まれます。

撮影：楠瀬友将



吹き抜けや開口部を介して立体的な視線のつながりを作り出している大屋根広場。金属製サイディングの藍色と素材感が洗練された空間デザインに寄与しています。

金属製サイディングの藍色と木目の組み合わせで 地元からも愛される洗練された空間が完成

ニチハ はまびよりでは、外壁に金属製サイディング（NS型ネオスパンプレミアム）のネイビーブルーを採用いただきました。ニチハの金属製サイディングをご採用いただいたきっかけについてお聞かせください。

小田嶋 最初は、よくある工場の波板みたいな簡単な素材をイメージしていたのですが、美浜町としては今後の維持管理も踏まえて、メーカー品で認定番号付きのものを選びたいというお考えでした。そこですは長いお付き合いのあるニチハさんなら、どんな商品があるか探したところ、このNS型ネオスパンプレミアムを見つけた。公共施設であるということで、準耐火構造の建物に採用できる事も大きな決め手になりました。

ニチハ この地域にあった色と素材感を加味した結果、金属製サイディングを選ばれたと伺っています。

小田嶋 地域の特色を考える中で、若狭湾の海の綺麗さが深く印象付けられていました。その色とその波の模様、ランドスケープ、外構から連続させていきたいという思いがありました。様々な要素を考慮した上で、統一感を持った金属製サイディングがちょうどNS型ネオスパンプレミアムでした。

ニチハ 軒天には木質感を高める天然木の杉羽目板をご採用されています。

小田嶋 地域の温かさ、安心感を醸し出すために、各広場で天然木杉羽目板を採用しました。一部不燃化の要求もありましたので、白華

ニチハ 施設自体が木目を基調としたあたたかな空間になっていますが、テナントの内装も含め全体の統一感が図れています。

小田嶋 私たちが欄間の部分等細部にこだわっているのを知って、各テナント様も内部空間に合わせて工事をしてくださいました。各業者さんが全体的に統一感のある建物に仕上げてくれたと言ったこともできます。

ニチハ オープンしてみても、計画通りだった部分などはございます。

小田嶋 やはり嬉しかったのは、お客様が私たちの思い描いたルートを辿ってルーフトップテラスを目指してくれたことです。ルーフトップテラスから美浜の山並みと若狭湾が一望できるのですが、その眺望が素晴らしく、やはり最初の計画の時点でお客様をどうやってルーフトップテラスに向かわせるか、階段の位置から屋根の位置から検討を重ねてきましたので、真っ先にルーフトップテラスをめがけて入られている様子を見る事が出来、感無量でした。

ニチハ 北陸地方は大地震にも見舞われましたが、大きな影響はなかったそうですね。



撮影：楠瀬友将

欄間木格子を内装デザインに取り入れた直売所。木を中心とした空間が、温かみのある賑わいを創出しています。

の少ない本商品を採用しました。

ニチハ 木目の存在感と、NS型ネオスパンプレミアムとの組み合わせで、あたたかみがありながら洗練された空間になっています。

小田嶋 木目と藍色が対比されていて、全体的な印象としては非常にいい色でまとめられたと思っています。ただ、細かい部分でいうと、上下接合部の水切り位置、見付の形状など、現場に入ってから初めて気づいた点が多かったので、今後は設計段階でニチハさんとディテールまで詰めていきたいと思っています。

ニチハ 構造では、地域の市場のようなヒューマンスケールの親しみやすい空間を目指し設計されたそうですね。

小田嶋 こういう大型施設は、一般的にスケールアウトしがちですが、はまびよりは町のスケール、人のスケールに合わせて、立ち寄りやすいサイズ感を意識し、木造に近い4mグリットと8mグリットを組み合わせた構造計画にしています。スパンを縮めると、縦の柱材が細く繊細にできます。それによって、柱を細く繊細に魅せる事で、各屋根が浮遊して見えます。構造設計を木下洋介先生にお願いしたのですが、計画当初から浮いて重なり合った屋根を実現させるにはどうしたらいいかを相談していました。構造的な工夫がないと柱はここまで細くすることはできません。その他にも欄間を木で構成したく、木の欄間の中に鉄骨のブレース、方杖を収めたり等、構造的な工夫はかなりされています。

オープンされてから1年が経ちますが、どのようなことをお考えになりますか

小田嶋 先日1年点検に伺ったのですが問題はありませんでした。鉄骨造、4mグリットの構造設計、金属製サイディングなど、耐震性の面でも安心できる材料を選定出来たからだと考えます。半屋外空間なので冬場の人も気になってはいたのですが、たくさんのお客様に来ていただけたようです。一番嬉しかったのは、はまびよりにたくさんの方に来ていただき町の活性化に結びつこうとしていることです。昨今、建設物価の上昇に伴い、予算オーバーから、プロジェクトの延期や中止が多々発生しています。はまびよりも幾度となくプロジェクト中断の話が浮上り、実際に工期も1年延期されましたが、みなさんの熱意と工夫で完成しました。今後様々なプロジェクトに携わっていく上で、はまびよりの経験が活かされていくのではないかと思います。



「はまびよりを訪れたお客様の中には、一日中いらっしやるとお話しされた方もいたそうです。その気持ちに理解できる心地よさに溢れた建物です」と話す。ニチハ特販第三部営業第一課長の伊藤通浩

暖かみのある軒天材を採用し お客様や地域とつながる空間へ

02

東京都
TAKEYA 1

株式会社入江三宅設計事務所
計画設計部
越田 益生 様

ニチハ 特徴的な場所なのでですね。建て替えの際に意識されたことはありますか。
越田 今、多くの人が日常的にオンラインで買い物をしています。実店舗にお客様を誘引するには、その場所にしかない何かを体感できる空間を創る必要があると思いました。多慶屋のもっている個性や魅力を受け継ぎ、生かし、江戸・東京下町の歴史やまちなみに配慮することで、現代に相応しい固有の魅力的な施設になるように考えました。

ニチハ 今回、商業施設「TAKEYA 1」に弊社の軒天材をご採用いただきました。まずは施設計画のポイントからお聞かせください。
越田 TAKEYA 1のある上野・御徒町は下町の風情が残る地域で、昔ながらの賑やかな商業空間が多くみられます。この場所で創業77年を迎える多慶屋（たけや）は路地に点在した店舗間の買い廻りがある活気のある商店で、店舗が全面紫色の外壁だったことからインバウンド客には「Purple Building」と呼ばれて親しまれていました。
計画敷地の西側にはさまざまな商店が集積する地域がひろがります。一方で、東側は商住共存地区につながり、公園や学校の緑地が面しています。他では見られない、個性的な商業空間であったと思います。

建物の内部と外部をつなぐ立体路地に 暖かみのある木目調の軒天材を採用

ニチハ 一度見たら忘れないような、非常に印象的なデザインだと感じました。外観に関して、軒天材の選定理由も含めてお聞かせください。
越田 計画敷地は四周を狭い路地に囲まれています。道路斜線制限によりセットバックして生まれた空間を、上階への回遊性を促す立体路地として計画しました。狭い路地からは外観を高い仰角で見上げることになるため、立体路地部分の軒天がとても目立ちます。特に夜間は店舗内からの光に照らされて、凹凸感が表情をつくります。
立体路地は、外部と内部の中間領域としての性格をもつ空間です。お客様が訪れたくなる場所にするために、暖かみのある素材にしようと思い「軒天12 木目調」を採用しました。照明の色温度を低く設定し、軒天の暖色がキレイに見えるようにしています。
対して、外壁面は紫色がキレイに見えるように白色の色温度照明にして、コントラストをつくっています。

ニチハ 見せ方にもこだわられているんですね。軒天材の性能面に関してはいかがでしょうか。

越田 立体路地は避難階段に連絡する空間でもあり、道路に面します。災害時には一次的な避難場所としても機能するでしょう。不燃材料認定を取得している「軒天12」は本計画に安心な材料だと思いました。



1.まち並みに彩りを与える視認性の高いデザイン。2.暖かみのある木の風合いが魅力の「軒天12 木目調」。
撮影：株式会社川澄・小林研二写真事務所



コロナ禍を乗り越えながら 建て替えをするという経験

ニチハ 建て替えを進めるにあたって苦労された点がありますか。

越田 実施設計の重要な期間がコロナ禍の1回目の緊急事態宣言期間と重なり、外出が禁止された上、リモートワークの環境が整っていませんでした。打ち合わせすることさえ難しい中で設計を進めていく必要があり、身体的にも辛い時期でした。これまでにない経験でしたが、いろんな意味で考え方が変化する出来事だったと思います。

ニチハ コロナ禍を乗り越えながらの建て替えだったですね。

越田 そうですね。コロナ禍が長期化するなかで社会が少しずつ状況に対応するようになり、さまざまなかたちで急速に変化したように思います。ネガティブな出来事ではありませんが、ポジティブにより良い方向へ変化を進めていくことが大切だと感じています。



3. 休憩、イートイン、催事スペースとしても活用される立体路地。4. 夜とは違った表情を見せる昼の外観。5. 折り紙や扇子を想起させる印象的なアルミパネル。
撮影：株式会社川澄・小林研二写真事務所

環境に配慮した サイディングの採用も 検討していきたい

ニチハ 軒天材を施工する際に気づかれたことはありますか。

越田 ビス頭の補修跡が見えてしまうこと、複雑な形の取り合いをキレイに納めるのが難しいことについて気をつけました。端物が出ないよう、できるだけ定尺の働き巾のままで単純に割り付けてビス頭の補修跡が整然と並ぶように、工夫しました。今後、その点での仕上げに配慮した工法ができるといいなと思います。

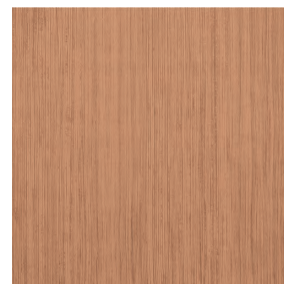
ニチハ 貴重なご意見をありがとうございました。最後に、弊社のサイディングについてもご感想、ご要望などをお聞かせください。

越田 過去に、小規模な箇所でサイディングの使用を検討したことがありますが、取り合い部をキレイに納めるのが難しそうということで採用を見送った経験があります。サイディングの特性を生かした魅力的な表情の製品があるといいなと思います。

また、ニチハさんのサイディングは木材の端材を原材料に活用しているとのことでした。

環境配慮はますます重要な課題になるので、総合的に環境負荷が少ないこと、また、そのことを感じ取れる製品があるのはいいことだと思います。

ニチハ 今後、機会がありましたらぜひ弊社のサイディングをご検討いただければと思います。今回は、有意義なお話をお聞かせいただきありがとうございました。



使用商品

軒天材 軒天12 木目調
YL141P ティンバーページ

ニチハGLPアクション

第2回キャンペーン開催中

応募期間：2024年4月1日～2025年3月末日

キャンペーン応募要件

対象者：2023年1月1日～2025年12月末日までに引き渡しされた、新築及びリフォームの、住宅及び非住宅物件のお施主さま

応募期間：第2回 2024年4月1日～2025年3月末日締め切り
※「ニチハGLPアクション」は上記期間経過後も2026年3月末日まで、引き続き開催することを予定しております。

対象商品：ニチハオフセットサイディング【COOL／Fu-ge／モエンエクセラード／モエンサイディングW】・センチュリー耐火野地板

※応募には「ニチハグリーンライフポイント」が必要です。
「ニチハグリーンライフポイント」は「CO₂固定量の証明書」に記載されています。「CO₂固定量の証明書」の発行は、購入元（住宅会社さま、販売店さま、工事店さまなど）にご依頼ください。
※「CO₂固定量の証明書」の発行にあたり、対象物件の特定のため、お施主さまの氏名を使用させていただきます。

特設サイトはこちらにアクセス

 <https://www.nichiha.co.jp/GLP/>



キャンペーン応募はお施主様から直接お申し込みいただけます。



1 ニチハGLPアクション 住宅会社様専用サイト【CO₂固定量証明書発行依頼】
上記サイトで、住宅会社様が直接「Googleフォーム」または「Excelアップロード」でCO₂固定量証明書の発行をお申し込みいただけます。

CO₂固定量証明書発行の流れ



※PDFを発行・メールで送信いたします。

2 キャンペーン応募フォーム
CO₂固定量証明書に記載されているシリアルNo.など、必要事項を入力することでキャンペーンにご応募いただけます。
上記サイトで、お施主様はキャンペーン応募が可能となります。

キャンペーン応募の流れ



※住宅会社様より入手したCO₂固定量証明書のシリアルナンバーを使用します。

Close Up

炭素の固定化とは？

木を木材として利用すれば、木が吸収した分のCO₂はC（炭素）として内部に閉じ込められたままとなり、大気中に放出されません。これを炭素の固定化と呼びます。木材製品の使用は、CO₂排出量削減への貢献につながっていきます。

※2011年の「COP17（気候変動枠組条約締約国会議）」において、国際ルール化されたHWP（伐採木材製品）の適用*により国産木材を使用した外壁材は廃棄されるまで炭素の貯蔵庫として認められることになりました。
*「伐採された国産の木材中の炭素については、木材製品が廃棄された時点で排出量を計上する」ことが含意されました。

脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換を応援
エシカルな選択で、未来を変える。

GLPアクション

※本事業は環境省の食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業に係る補助金を受け実施しています。

ニチハは1956年の創業以来、国産木材の有効利用を掲げ、間伐材や端材を外壁材の主原料として使用しています。

「外壁材という素材の選択を通じて、機能性やデザイン性とともにエシカルな選択にもこだわってほしい」

そんな想いを形にしたのが、ニチハGLP（グリーンライフポイント）アクションです。

窯業系
サイディング
業界初

グリーンライフ・ポイントとは

環境省が支援する、お客様が環境に配慮した製品やサービスを選ぶなどの行動に対して企業や地域がポイントを発行する取組です。

端材から生まれた国産チップを混合し、セメントとともに外壁材にCO₂を閉じ込める外壁材「オフセットサイディング」を選択することで、国産木材の利用を促進して森を守り、ひいては持続可能な社会づくりへの活動参加につながります。

ニチハGLPアクションの3ステップ

アクション1

新築・リフォームをご検討のお客様へ

ニチハ対象商品「オフセットサイディング」*¹をご採用いただくことで、元請け会社さまを通じて「ニチハGLPアクション」への参加をお申し込み*²いただけます。



*1 センチュリー耐火野地板を含む。
*2 元請け会社様にグリーンライフポイント発行のむねをお伝えください。

アクション2

環境貢献度合いを見える化！

住宅会社さまを通じて「CO₂固定量の証明書」を発行し、ご採用面積に応じて「ニチハグリーンライフポイント」を付与します！

（例）延床面積30坪、
外壁面積約170㎡に使用した場合。

CO₂を
約800kg-CO₂固定化



800ポイント
を付与

※一部商品を除く

アクション3

エシカルな選択で、お得なチャンス!!

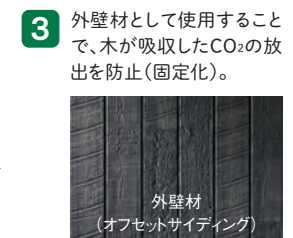
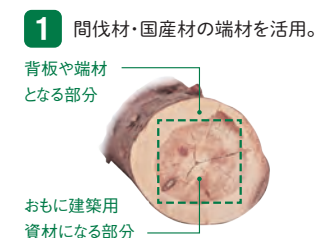
100ポイントを1口として、最大10万円分のギフトカードが抽選であたるキャンペーンにご応募いただけます。

※[第2回]の抽選は、10万円分が10名様、2万円分が20名様、1万円分が50名様にあたります。
※ポイント発行、キャンペーン応募には諸条件がございます

オフセットサイディングとは？

（ニチハグリーンライフポイントの付与対象になる外壁材です）

「オフセットサイディング」は、セメントと木材チップを独自の技術で混ぜ合わせ、乾式プレス成型して生産する外壁材です。柱を製材した後に残る背板、端材など本来不要となる部分を加工した国産木材チップの量は、外壁材の体積の50%以上にも及んでいます。その結果、木の有効活用に加え、木が生長過程で吸収したCO₂の放出を防止（炭素の固定化）。地球温暖化を防止するカーボンニュートラル、森林の保護・育成に大きく貢献しています。



NEW

軒天12 トリスタ

ティンバースタイル 無孔板

■塗装タイプ

シリコンアクリル
エマルジョン塗装

加工技術
プリント

耐候技術
トップ
クリアー

寸法	12×910×1820mm
標準価格(税抜)	9,200円/枚 5,555/㎡

不燃材料番号:NM-3899
準耐火構造認定番号:軒裏30分準耐火構造適合品
【無孔板QF030RS-0250
【無孔板+軒天通気見切縁QF030RS-0348-1

ナチュラルでやさしく淡い色合い

A

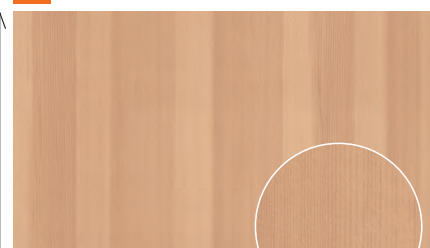
B

C

高級感が溢れる独特の木目を演出

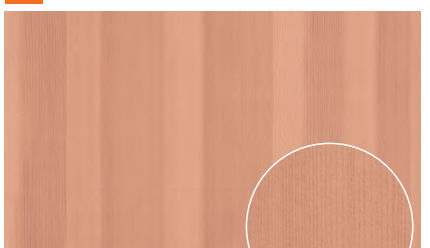
木そのものを感じられる風合い

A



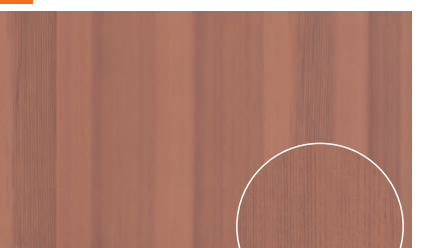
YK021
ナチュラルメイプル

B



YK022
ナチュラルオーク

C



YK023
ナチュラルチーク

※木目は長手方向です。

YK022 ナチュラルオーク

自然な木目の美しさへのこだわり。
複数の色味が織りなすハーモニーで、
エレガントかつナチュラルな軒先を実現。

軒天12 トリスタの特長

特長
1

軒先野縁レス工法+軒先金具工法に対応。

軒先側の野縁を無くし、かつ専用金具を使用することで釘頭の露出を減らすことができます。

※1防火通気見切り縁【BM3(※)】を併用します。また、これまで通りの釘留め施工もお選びいただけます。

※BM3(※)を使用した施工の際には他にも「軒天支持クリップ」などの、日本化学産業株式会社の商品が必要になりますのでご注意ください。

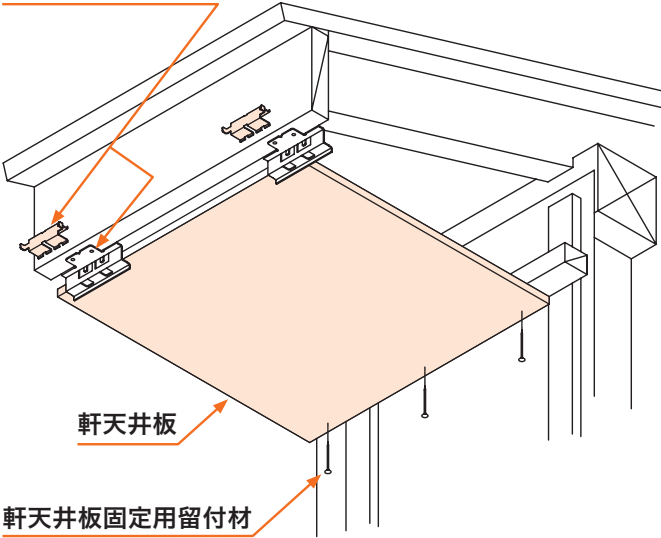
BM3

*防火通気見切り縁【BM3】は
日本化学産業株式会社の商品です。
詳細につきましては下記へ
お問い合わせください。

※写真はライトブラウンです。

日本化学産業株式会社
建材本部 住宅建材グループ TEL:048-931-0252
大阪支社 建材営業課 TEL:06-6910-2030
名古屋支社 建材営業課 TEL:052-715-7603

軒天支持金具セット



特長
2

軒の出が深い建物にも施工が可能。

製品サイズ(910×1820mm)そのままの施工が可能な軒裏30分準耐火構造認定を取得していますので、軒の出が深い建物にも施工が可能です。

特長
3

トリスタ専用の軽量基材。

軽量設計で運搬、施工時の取り回しが楽な製品です。

軒天12トリスタ

詳しい施工方法につきましては、
設計施工資料集をご覧ください。



NEW

軒天12 トリスタ

エンボススタイル 無孔板

■塗装タイプ

シリコンアクリル
エマルジョン塗装

耐擦技術
トップ
クリアー

寸法	12×910×1820mm
標準価格(税抜)	5,400円/枚 3,260/㎡

不燃材料番号:NM-3899

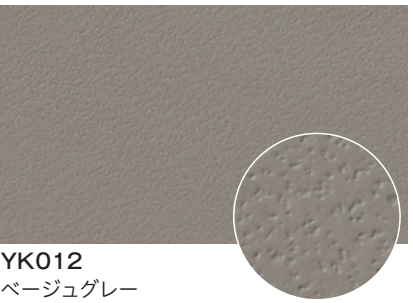
準耐火構造認定番号:軒裏30分準耐火構造適合品

【無孔板QF030RS-0250

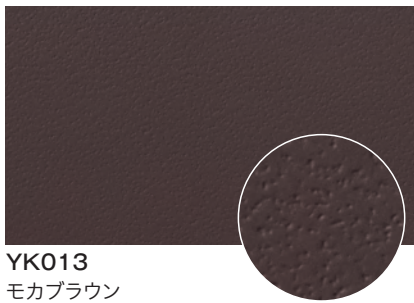
【無孔板+軒天通気見切り縁QF030RS-0348-1



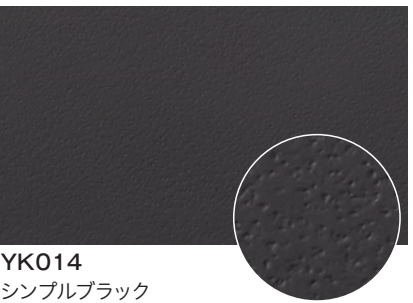
YK011
シンプルホワイト



YK012
ベージュグレー



YK013
モカブラウン



YK014
シンプルブラック

ランダムな凹凸模様のエンボス調で、
素朴で飽きのこない軒下を演出します。

YK014 シンプルブラック (写真はイメージです。)

TOPICS and MORE

宮崎県「ゼロカーボン推進分野」への寄付に対し、
紺綬褒章を受章

ニチハでは、地球温暖化の防止や循環型社会の形成へ向けた取り組みの一環として、宮崎県が実施するゼロカーボン推進分野（耳川流域へのスキの再造林支援）へ寄付を行いました。持続可能な森林経営への貢献として再造林への支援をさせていただきましたが、このたび本寄付に対して、紺綬褒章を受章いたしました。

「紺綬褒章」とは、公益のために私財を寄付した個人及び法人・団体にに対し、日本国政府より授与されるものです。

紺綬褒章の伝達式は、2024年3月12日に宮崎県庁知事室にて行われ、宮崎

県知事の河野俊嗣様より褒状を授与されました。

ニチハでは、今後も事業を通じて社会課題の解決に取り組み、より良い未来を創造する企業としてサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



(左)宮崎県知事河野俊嗣様、(中央)ニチハ株式会社 代表取締役社長 吉岡成充、(右)鹿児島営業所長玉置亮

大分県、大分県森林再生機構、ニチハの3社による
「早生樹による再造林の推進に関する協定」締結

ニチハは7月4日に、大分県、大分県森林再生機構と「早生樹による再造林の推進に関する協定」を締結しました。

本協定は再造林の実施に当たり、成長に係る特性の特に優れたスギ苗木等の植栽を推進することにより、将来資源を確保し、持続的な木材の安定供給に貢献することを目的とするものです。本協定で普及を進める「成長に係る特性の特に優れたスギ苗木」は「早く成長するだけでなく、花粉量が少ないなどの特徴を持つことから、花粉症対策にも寄与します。

ニチハは本協定に基づき、大分県、大分

県森林再生機構と連携して、(一)森林所有者等への支援に関すること、(二)早生樹苗木の供給・普及に関する取り組みに取り組んでいきます。



場所:大分県庁知事室
(左)ニチハ株式会社 代表取締役社長 吉岡成充、(中央)大分県知事 佐藤樹一郎様、(右)大分県森林再生機構理事長 井上明夫様

「理想のすまいと建築フェア2024
優良製品・技術表彰」にて
経済産業省・製造産業局長賞を受賞

このたびニチハの「オフセットサイディング」が、「理想のすまいと建築フェア2024 優良製品・技術表彰」(一社)日本建築材料協会・日本経済新聞社・テレビ大阪主催)にて経済産業省・製造産業局長賞を受賞しました。

本賞は、優れた建築材料・住宅設備の製品・技術に対して、これを表彰することで広く社会に発信し、品質並びに施工技術の向上を図り、建築業界全体の更なる発展と向上に寄与することを目的としています。日本で唯一の経済産業省と国土交通省の認めた建築材料、住宅設備の賞となっております。

誰もが安心して暮らすことができる住生活の実現、安全で質の高い住宅・建築ストックへの更新・整備、地域の魅力を維持・向上等に資する優れた建築材料・住宅設備であるかどうか審査基準になっており、製品・技術の新規性・独創性、意匠性、市場性、機能性・安全性、実用性、時代性等を審査のポイントとしながら総合的に選考されています。

間伐材や国産木材から柱などを切り出す際に生じた端材を木材チップに加工し、セメントと混ぜ合わせた「オフセットサイディング」は、木材の有効利用に加え、外壁として張るだけで木材に含まれる炭素を長期間固定し、地球温暖化防止に貢献することができると高い評価を

いただきました。

また、2023年1月には、「オフセットサイディング」が環境省の支援する「グリーンライフ・ポイント」推進事業に窯業系サイディング業界として初めて採択されました。この推進事業において、ご採用いただいた建設会社様やオーナー様に「CO₂固定量証明書」の発行も行っており、「オフセットサイディング」の高い環境性能を実感いただいております。

消費者の皆さまに「オフセットサイディング」を選択いただくことは、森林サイクルの促進、持続可能な森林経営に貢献、ひいてはカーボンニュートラル社会の実現に寄与します。

ニチハはこれからも「オフセットサイディング」をはじめとした環境に貢献する商品・サービスの提供を通して、持続可能な社会づくりを進めてまいります。



オフセットサイディングイメージボード



経済産業省
製造産業局長賞

世帯数減少で空き家がさらに急増!?
産学あがての取り組みが加速

先に発表された「令和5年住宅・土地統計調査」(総務省)で空き家総数が900万戸に達し、5年前の前回調査比51万戸増となったことが明らかになった。総住宅数に占める空き家の割合である空き家率は13.8%(同0.2ポイント増)と、ともに過去最高である。空き家数は一貫して増加を続けており、93年の448万戸から30年間で約2倍になっている。

空き家と一口に言っても、売却用で住んでいない家、別荘など日頃居住していない家などもある。問題となっている空き家は、これらを除く、居住予定がないのに活用したり取り壊したりしていない「その他」の空き家、いわゆる「放置空き家」である。この「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」の数は385万戸(同37万戸増と空き家全体の約4割を占め、空き家率は5.9%(同0.3ポイント増)だ。30年前の149万戸から約2.6倍であり、空き家全体の増加を上回るペースで増え続けている。

こうした空き家が、治安面や景観面で悪影響を及ぼすなど、地域の大きな課題となっている。

国は、この空き家問題に対する対策を加速、

その強化を進める。2023年6月に「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律案」が成立、12月に施行となった。空き家の活用拡大、管理の確保、特定空家等の除去など総合的な取組みに加速をつけることが目的だ。

なかでも「空家等の管理の確保」が強化され、放置することで特定空家になるおそれがある空き家を「管理不全空家」として位置づけ、場合によっては固定資産税の住宅用地特例を解除する。特定空家だけでなく管理不全空家であっても放置するとデメリットが生まれる可能性があることから、所有者が早期の利活用に向くことが期待されている。

一方、民間でも、空き家に対する取り組みが各方面で進む。例えば、昨年9月には多業種にわたる事業者が集まり「全国空き家対策コンソーシアム」が設立され、企業連携による取り組みも進み始めている。また、先にはりそな銀行および埼玉りそな銀行が「りそな空き家専用ローン」の取り扱いを開始した。空き家活用が進まない一つの理由が、空き家の流動性が低いこと。空き家を購入したいと思っても物件が古

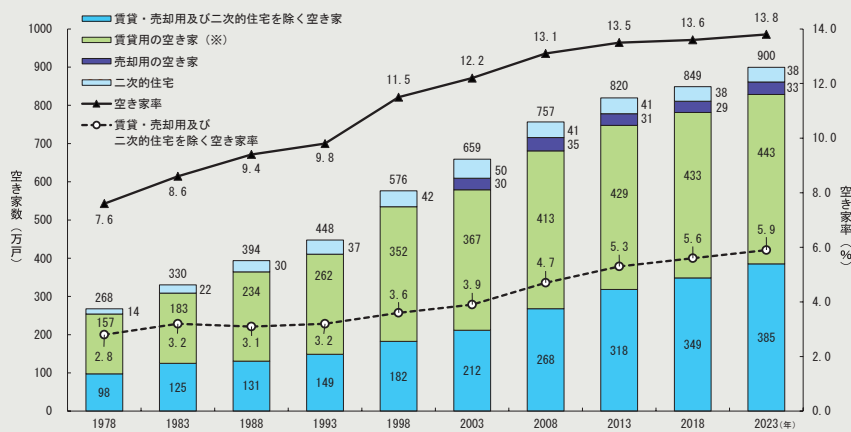
すぎて担保に入られず、ローンの利用が難しいケースが多かった。メガバンク初となるこのローンは空き家に特化した無担保のローンで、資金使途は、購入資金、リフォーム資金、解体資金など、借入限度額は10万円以上1000万円以内だ。住宅金融支援機構の「2023年度住宅ローン貸出動向調査」によると、空き家に関連するローンを「取り扱っている」金融機関は48.8%と半数近い。今後、こうした取り組みが加速する可能性は高い。

東京大学連携研究機構 不動産イノベーション研究センターの鈴木雅智 客員研究員によると、長期空き家(4年以上)が1軒増えることに50m以内の住宅の取引価格が約3%低下するという。空き家は、景観や治安に悪影響を与え、倒壊すれば直接的な人的・物的被害も想定される。加えて、取引価格にまで悪影響を及ぼす可能性が高い。

全国空き家対策コンソーシアムの川口哲平 代表理事は「世帯数の増加期でも空き家は増えてきたが、世帯数が減少に転じることで今後さらに急増することが懸念される」と警鐘を鳴らす。

ハウジングトリビューン編集長 平澤和弘

空き家数及び空き家率の推移





撮影：衛藤フミオ



撮影：楠瀬友将



第41回 Nichiha SIDING AWARD 2024

2024年冬号本誌にて結果発表!

締切
2024
8/16
(金)

本年もNICHIIHA SIDING AWARD 2024を開催いたします。
審査委員長に建築家の難波和彦氏、審査員にインテリアデザイナーの飯島直樹氏を
お迎えし、ニチハ商品をご採用いただいた作品を審査いただきます。

対象作品 ニチハカタログ掲載商品を外装あるいは内装に使用し、2023年8月以降に新築またはリフォームされた建築物。
戸建て住宅(街並み含む)、集合住宅、店舗、教育施設、病院、福祉施設など。

審査基準 ニチハ標準施工で商品の柄や特性をうまく活かし、建て主様の意向に沿い、時流に合った外観デザインであること。
また、周囲との調和や外構デザインにも配慮されている作品であるかについて、施工写真や設計要旨から判断のうえ審査します。

賞品 各受賞者の方に下記のとおり賞品を贈呈いたします。



難波和彦
建築家・
東京大学名誉教授



飯島直樹
インテリアデザイナー

グランプリ 住宅部門・非住宅部門各1点 合計2点 30万円(旅行クーポン券)別途、建て主様に5万円(旅行クーポン券)

プラチナ賞 住宅部門・非住宅部門各1点 合計2点 10万円(旅行クーポン券)別途、建て主様に3万円(旅行クーポン券)

ゴールド賞 住宅部門・非住宅部門各1点 合計2点 5万円(旅行クーポン券)別途、建て主様に2万円(旅行クーポン券) ほか各賞をご用意しています。

WEBでの応募が便利!

ニチハサイディングアワード特設ページよりご応募いただけます。
※ご応募いただくには会員登録が必要です。

https://www.nichiha.co.jp/siding_award/



Check

昨年度にご登録いただいた
「メールアドレス」と「パスワード」を
引き続きご利用いただけます。

お知らせ

広報誌「Na-view」のご感想はアンケートフォームにて承ります。

<https://www.nichiha.co.jp/info/naview/>



ニチハ株式会社

名古屋市中区錦二丁目18番19号

三井住友銀行名古屋ビル

TEL (052) 220-5111

編集／ナビ編集室

ホームページアドレス

<https://www.nichiha.co.jp/>

編集後記

今号特集の「美浜町道の駅 若狭美浜はまびより」は、昨年のNICHIIHA SIDING AWARD 2023で入賞に輝き、昨年開催の第22回金属サイディング施工例フォトコンテスト(日本金属サイディング工業会主催)で新築部門の最優秀賞を受賞されています。インタビューでは、建築をとりまく関係者の皆さまが、町の活性化に向けた共通認識のもと、同じ熱量で事業を推進されている背景を伺うことができました。だからこそ、遠方から訪れる人だけではなく、地元の人びとにも親しみをもって愛される施設(道の駅)が完成し、高い評価につながっているのだらうと感じました。今年もNICHIIHA SIDING AWARDを開催しています。皆さまからのご応募をお待ちしております。WEB応募が簡単、便利ですので、どうぞご活用ください。(T)